

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社

コード番号 4093 URL <http://www.toho-ace.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 櫻井 琢平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 小西 国温

TEL 03-5687-5201

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	14,666	△20.7	634	63.6	652	41.1	372	46.8
21年3月期第2四半期	18,503	—	388	—	462	—	253	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	10.66	—
21年3月期第2四半期	7.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	27,864	7,763	22.7	181.16
21年3月期	28,774	7,317	20.5	168.98

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 6,330百万円 21年3月期 5,904百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,500	△9.6	1,000	12.3	1,000	2.7	450	65.6	12.88

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 35,020,000株 21年3月期 35,020,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 78,134株 21年3月期 76,664株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 34,942,498株 21年3月期第2四半期 34,915,229株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の5ページをご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な景気後退局面からは脱し、緩やかな回復の兆しが見られたものの、設備投資の抑制や個人消費の低迷は依然継続し、雇用情勢も一段と厳しさを増すなど、引き続き先行きの不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましても、主たる需要先であります鉄工・電機電子部品・建設機械産業等の生産が、景気の低迷により減少し、厳しい状況の中で推移いたしました。

このような状況下において、当社グループは一般高圧ガス及び液化石油ガスの主力商品を中心に販売価格改善に取り組んだものの、当第2四半期連結累計期間の売上高は146億66百万円と前年同四半期に比べ38億37百万円（20.7%）の減収となりました。営業利益は労務費を中心としてより厳しい経費の削減に努めたこと及びその他事業の製氷・冷凍機械の製品の引渡しが集中した結果、6億34百万円と前年同四半期に比べ2億46百万円（63.6%）の増益、経常利益は6億52百万円と前年同四半期に比べ1億89百万円（41.1%）の増益、四半期純利益は、3億72百万円と前年同四半期に比べ1億18百万円（46.8%）の増益となりました。

事業の種類別セグメントの状況は、以下のとおりであります。

ガス関連事業

ガス関連事業におきましては、溶解アセチレンは、溶接・溶断向け需要減少等の影響を受け、酸素も同様に溶接・溶断及び液晶等素材向け需要の減少等により売上高は減少いたしました。窒素は電子部品及び自動車部品向け等の需要減少により、水素等その他ガスにつきましても石英加工・自動車産業向けの需要減少により、売上高は減少いたしました。液化石油ガスは、産業用需要の減少と、輸入LPG価格の下落に伴う販売価格の値下がりにより、売上高は数量・金額ともに大幅な減少となりました。

以上の結果、当部門の売上高は93億15百万円と前年同四半期に比べ27億92百万円（23.1%）の減少、営業利益は8億77百万円と前年同四半期に比べ13百万円（1.5%）の減少となりました。

器具器材関連事業

器具器材関連事業におきましては、溶接・切断器具、溶接材料ともに、全般的な需要の停滞により売上高が減少いたしました。生活関連器具につきましても、一般消費者の買い控え等により売上高は減少いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は41億63百万円と前年同四半期に比べ14億55百万円（25.9%）の減少、営業損益は前年同四半期に比べ32百万円減少し、8百万円の損失となりました。

その他事業

その他事業におきましては、製氷・冷凍機械及び医療機器向けの売上高が前年同四半期を大幅に上回りました。

以上の結果、当部門の売上高は11億87百万円と前年同四半期に比べ4億11百万円（53.0%）の増加、営業利益は1億52百万円と前年同四半期に比べ1億60百万円の増加となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、124億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億47百万円の減少となりました。この主な要因は、現金及び預金は増加（4億41百万円）したものの、売上高の減少により受取手形及び売掛金が大幅に減少（11億42百万円）したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は154億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円の増加となりました。この主な要因は、有形固定資産は減少（2億4百万円）したものの、投資有価証券が増加（1億88百万円）及び無形固定資産が増加（32百万円）したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ9億9百万円減少し278億64百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、135億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億36百万円の減少となりました。この主な要因は、短期借入金は増加（3億円）したものの、支払手形及び買掛金が大幅に減少（8億56百万円）したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、65億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億18百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が減少（9億30百万円）したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ13億55百万円減少し201億1百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、77億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億45百万円の増加となりました。この主な要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加（3億95百万円）したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、44億42百万円となり、前連結会計年度末より4億49百万円（11.2%）増加いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間に係る各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、14億98百万円となりました。売上債権の減少及び法人税等の支払額の減少等により、前年同四半期に比べ8億87百万円（145.4%）増加しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、3億91百万円となりました。固定資産の取得による支出の減少等により、前年同四半期に比べ38億94百万円（90.9%）減少しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、7億18百万円となりました。
(前年同四半期は44億20百万円の収入) この主な要因は、長期借入による収入が減少したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、その他事業の製氷・冷凍機械の製品の引渡しが集中したこと等により増益となりましたが、今後の見通しにつきましては、景気動向等先行き不透明であり、現時点では今後の業績動向は不確定であります。従いまして、前回予想数値を据え置き修正は行いません。

なお、修正の必要が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

1) 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2) 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3) 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,512,290	4,070,981
受取手形及び売掛金	6,430,037	7,572,958
商品及び製品	781,196	903,481
仕掛品	87,419	100,118
原材料及び貯蔵品	138,855	146,900
その他	568,432	671,045
貸倒引当金	△72,608	△72,217
流動資産合計	12,445,622	13,393,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,226,625	3,402,469
機械装置及び運搬具(純額)	1,507,869	1,587,234
土地	6,770,451	6,736,442
その他(純額)	628,732	611,944
有形固定資産合計	12,133,679	12,338,091
無形固定資産	497,724	465,308
投資その他の資産		
投資有価証券	1,746,681	1,557,751
その他	1,121,307	1,081,444
貸倒引当金	△80,067	△61,436
投資その他の資産合計	2,787,922	2,577,759
固定資産合計	15,419,326	15,381,159
資産合計	27,864,948	28,774,425
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,606,363	5,462,754
短期借入金	7,269,743	6,968,789
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
未払法人税等	256,698	169,455
賞与引当金	292,972	309,836
役員賞与引当金	4,750	13,450
その他	961,377	804,437
流動負債合計	13,591,905	13,928,722
固定負債		
長期借入金	4,012,769	4,942,936
退職給付引当金	1,312,814	1,407,909
役員退職慰労引当金	446,392	439,423
負ののれん	234,373	287,795

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
その他	503,635	450,312
固定負債合計	6,509,984	7,528,377
負債合計	20,101,890	21,457,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	905,452	905,452
利益剰余金	3,146,195	2,750,901
自己株式	△8,034	△7,895
株主資本合計	6,304,613	5,909,457
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,475	△4,655
評価・換算差額等合計	25,475	△4,655
少数株主持分	1,432,969	1,412,523
純資産合計	7,763,058	7,317,325
負債純資産合計	27,864,948	28,774,425

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	18,503,461	14,666,293
売上原価	13,471,881	9,866,499
売上総利益	5,031,579	4,799,794
販売費及び一般管理費	4,643,468	4,164,801
営業利益	388,110	634,993
営業外収益		
受取利息	6,513	2,063
受取配当金	8,008	5,563
受取賃貸料	44,559	49,959
持分法による投資利益	34,099	11,060
負ののれん償却額	61,475	68,616
その他	52,900	36,279
営業外収益合計	207,557	173,543
営業外費用		
支払利息	100,477	117,783
手形売却損	18,072	7,368
賃貸費用	11,994	13,689
その他	3,038	17,613
営業外費用合計	133,583	156,454
経常利益	462,084	652,082
特別利益		
固定資産売却益	12,453	1,049
貸倒引当戻入額	—	6,544
投資有価証券売却益	30,334	—
受取保険金	30,000	—
保険解約返戻金	2,166	6,567
関係会社清算益	10,943	—
特別利益合計	85,896	14,160
特別損失		
固定資産除売却損	15,691	5,290
減損損失	3,822	—
投資有価証券売却損	9,442	—
投資有価証券評価損	2,500	206
関係会社整理損	—	9,999
ゴルフ会員権売却損	—	2,314
特別退職金	—	33,713
特別損失合計	31,457	51,524
税金等調整前四半期純利益	516,523	614,718
法人税等	218,871	202,369
少数株主利益	43,950	39,887
四半期純利益	253,701	372,461

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	516,523	614,718
減価償却費	494,736	556,279
減損損失	3,822	—
負ののれん償却額	△61,475	△68,616
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14,790	△104,922
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△32,324	6,968
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,194	18,672
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,409	△23,413
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,300	△8,700
受取利息及び受取配当金	△14,521	△7,627
支払利息	100,477	117,783
持分法による投資損益(△は益)	△34,099	△11,060
投資有価証券売却益	△30,334	—
固定資産売却益	△12,453	△1,049
固定資産除売却損	15,691	5,290
関係会社整理損	—	9,999
特別退職金	—	33,713
売上債権の増減額(△は増加)	557,544	1,133,207
たな卸資産の増減額(△は増加)	△56,086	143,850
仕入債務の増減額(△は減少)	△483,995	△839,315
差入保証金の増減額(△は増加)	44,927	—
その他	△56,961	114,814
小計	981,567	1,690,592
利息及び配当金の受取額	18,012	9,708
利息の支払額	△102,733	△128,956
法人税等の支払額	△286,340	△73,339
営業活動によるキャッシュ・フロー	610,505	1,498,004
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△75,915	△10,700
定期預金の払戻による収入	73,110	18,517
有価証券の取得による支出	△4,500	—
有価証券の償還による収入	9,484	—
有形固定資産の取得による支出	△4,169,618	△238,144
有形固定資産の売却による収入	48,166	8,799
無形固定資産の取得による支出	△40,863	△10,480
投資有価証券の取得による支出	△158,161	△130,155
投資有価証券の売却による収入	31,459	—
貸付けによる支出	△5,810	△35,069
貸付金の回収による収入	20,490	20,214

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
子会社株式の取得による支出	△31,035	△16,500
その他	17,351	2,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,285,841	△391,408
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,978,390	608,267
短期借入金の返済による支出	△3,184,621	△445,638
長期借入れによる収入	5,835,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△193,413	△891,842
少数株主への配当金の支払額	△8,105	△8,087
リース債務の返済による支出	—	△51,138
長期未払金の返済による支出	—	△29,538
その他	△6,732	△138
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,420,517	△718,116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	745,181	388,479
現金及び現金同等物の期首残高	2,796,682	3,993,813
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	25,935	60,647
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,567,799	4,442,940

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

（単位：千円）

	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,108,064	5,619,570	775,827	18,503,461	—	18,503,461
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,108,064	5,619,570	775,827	18,503,461	—	18,503,461
営業利益又は営業損失(△)	890,709	24,534	△8,646	906,597	(518,486)	388,110

(注) 1 事業区分の方法

当社の事業区分は、製品・商品の種類を基準区分として、ガス関連、器具器材関連、その他に分けております。

2 各事業区分の主要製品・商品

事業区分	主要製品・商品
ガス関連事業	溶解アセチレン、酸素、窒素、液化石油ガス、都市ガス、水素、アルゴン、炭酸ガス、灯油、その他ガス
器具器材関連事業	溶接切断器具、生活関連器具、容器、溶接材料
その他事業	医療機械、建設工事、機械(製氷・冷凍機械等)、自動車関連機器

3 セグメント別資産の著しい金額の変動

当第2四半期連結累計期間において、当社が有限会社常栄興産より賃借しておりました固定資産を取得したことに伴い、ガス関連事業の資産は、前連結会計年度末に比べて3,210,557千円増加しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

（単位：千円）

	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,315,553	4,163,739	1,187,000	14,666,293	—	14,666,293
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,315,553	4,163,739	1,187,000	14,666,293	—	14,666,293
営業利益又は営業損失(△)	877,636	△8,235	152,066	1,021,467	(386,473)	634,993

(注) 1 事業区分の方法

当社の事業区分は、製品・商品の種類を基準区分として、ガス関連、器具器材関連、その他に分けております。

2 各事業区分の主要製品・商品

事業区分	主要製品・商品
ガス関連事業	溶解アセチレン、酸素、窒素、液化石油ガス、都市ガス、水素、アルゴン、炭酸ガス、灯油、その他ガス
器具器材関連事業	溶接切断器具、生活関連器具、容器、溶接材料
その他事業	医療機械、建設工事、機械(製氷・冷凍機械等)、自動車関連機器

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計額はすべて「本邦」であるため、所在地別セグメント情報の記載は行っておりません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。